

平成24年7月13日

「野菜シンポジウム～野菜をおいしく食べる～」の開催について

独立行政法人農畜産業振興機構

日頃不足しがちな野菜を若い頃からもっとおいしく楽しく食べてもらうために、「野菜シンポジウム～野菜をおいしく食べる～」を下記のとおり開催いたします。

記

1. 開催日時：平成24年8月31日（金） 14：00～18：00

2. 開催場所：イイノカンファレンスセンター

〒100-0011 東京都千代田区内幸町2丁目1番1号イイノビル4階

3. 開催趣旨

野菜の摂取量については、「21世紀における国民健康づくり運動（健康日本21）」において成人1人当たりの目標値が350g以上と定められているところですが、本年1月に発表された平成22年国民健康・栄養調査によれば、野菜の摂取量は低下傾向で推移し、成人の全階層において目標値を下回っており、特に若年層における摂取量が少ない状況となっています。

こうした中で、野菜を適正に摂取し、健康な食生活を送るためにも、若年層のみならず子供の頃からの食育による生活習慣の改善が必要となっていることから、子供の食生活を担う栄養教諭や学校栄養職員、働く世代の食生活を担う管理栄養士及び栄養士、若い世代並びに子供の親世代を主な対象とし、野菜シンポジウムを開催します。

4. 開催内容

○ 基調講演1「野菜好きを育てる食育の実践」～学校給食から広がる食の学び～
講演者 宮島則子（学習院女子大学講師、青果物健康推進協会顧問）

○ 基調講演2「野菜の摂取と発がん予防」
講演者 津金昌一郎（（独）国立がん研究センターがん予防・検診研究センター予防研究部長）

○ パネルディスカッション「野菜をおいしく食べる」

・コーディネーター 中村靖彦（野菜需給協議会座長、日本食育学会会長）

・パネラー

有馬まゆ（（株）NECライベックス 栄養主任、管理栄養士）

内山理勝（（株）サカタのタネ 取締役 国内卸売営業本部長）

津留崎弘美（レシピクリエーター、日本野菜ソムリエ協会講師）

西坂文秀（越智今治農業協同組合 直販開発室 室長、さいさいグループ代表）

5. 主催：野菜需給協議会、独立行政法人農畜産業振興機構

6. 後援：農林水産省、厚生労働省(予定)、東京都(予定)

7. その他：参加には事前登録が必要です。詳細は別添チラシのとおり。

8. 講演者等のご紹介

・宮島則子（みやじま・のりこ）

学習院女子大学講師。食育アドバイザー。栄養士。東京食育ネットワーク顧問。青果物健康推進協会顧問。前荒川区立汐入小学校主査栄養士。学校と家庭、地域、社会をつなぐさまざまな食育活動を展開。

・津金昌一郎（つがね・しょういちろう）

独立行政法人国立がん研究センターがん予防・検診研究センター予防研究部長。医学博士。昭和61年より国立がんセンター研究所疫学部研究員。臨床疫学研究部長等を経て、平成15年にがん予防・検診研究センター開設とともに現職に就任。

・中村靖彦（なかむら・やすひこ）

東京農業大学客員教授。農政ジャーナリスト。野菜需給協議会座長。日本食育学会会長。良い食材を伝える会代表理事。元NHK解説委員。元食品安全委員会委員。

・有馬まゆ（ありま・まゆ）

株式会社NECライベックス 栄養主任。管理栄養士。産業栄養指導者。NECグループ社員食堂等での健康・栄養に関するイベントの企画運営を担当。

・内山理勝（うちやま・りしょう）

株式会社サカタのタネ取締役・執行役員、国内卸売営業本部長。昭和59年に入社して以来、主に野菜種子の国内営業を担当。

・津留崎弘美（つるさき・ひろみ）

レシピクリエイター。日本野菜ソムリエ協会講師。料理研究家。料理教室「SAIRA（菜楽）」主宰。野菜ソムリエ、食育実践アドバイザー他、食に関する様々な資格を持ち、野菜の魅力や食の大切さを伝えるとともに、各地の名物料理等のレシピ開発に多数携わる。

・西坂文秀（にしざか・ふみひで）

越智今治農業協同組合直販開発室室長。さいさいグループ代表。JA越智今治の直売所「さいさいきて屋」は日本最大級の面積を誇る大型直売所で、直売所以外にもレストラン、カフェ及び市民農園を運営。

(お問い合わせ先)

独立行政法人農畜産業振興機構

野菜需給部 需給推進課 桃野、曾根

Tel : 03-3583-9449

Fax : 03-3583-9484